

大塚商会 C A D 便利ツール

コレクションキットR

連続変換ツール

マニュアル

# 目次

1. はじめに	
1-1. ソフトウェア情報.....	3
1-2. 動作環境.....	3
2. ファイル構成	
2-1. デフォルトインストール先 .....	4
3. セットアップ	
3-1. インストール方法.....	5
3-2. アンインストール方法.....	7
4. アクティベーション（ライセンス認証）	
4-1. 便利ツール ID・パスワードの確認.....	8
4-2. ライセンスの取得.....	11
4-3. ライセンスの返却.....	14
4-4. ライセンス有効期間の確認 .....	17
4-5. プロキシ設定の表示.....	18
5. 操作マニュアル	
5-1. 制限・注意事項 .....	20
5-2. 画面構成.....	21
5-3. 基本操作手順 .....	23
5-4. エラー一覧.....	27
6. 補足：こんな時は	
Q.1 コレクションキットのメニューが表示されない.....	28
Q.2 SOLIDWORKS のアドインダイアログにアドイン名が表示されない .....	29

SOLIDWORKS®は SOLIDWORKS 社の米国及びその他の地域における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Microsoft Excel、Windows 10、Windows 11 またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の会社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

なお本書の中では®または™マークを明記いたしません。

## 1. はじめに

「コレクションキット」は、SOLIDWORKS の設計業務をより効率化するために大塚商会が独自にカスタマイズしたツール群です。

大塚商会では、「たよれーる」保守契約の特典として、対象となる SOLIDWORKS 系保守サービスをご契約中のお客様に無償でご提供しています。

### 1-1. ソフトウェア情報

バージョン .....5.00

### 1-2. 動作環境

コレクションキットは、SOLIDWORKS にアドインして使用するツールです。

SOLIDWORKS が動作する環境が必要となります。

SOLIDWORKS と OS の対応バージョンは以下の通りです。

SOLIDWORKS	Windows 10	Windows 11
	64bit	64bit
SOLIDWORKS 2023	○	○
SOLIDWORKS 2024	○	○
SOLIDWORKS 2025	○	○

- ※ ライセンス認証時はインターネット接続環境が必要です。
- ※ Microsoft .NET Framework 4.5 がインストールされている必要があります。  
インストールされていない、または、インストールされている .NET Framework のバージョン（サービスパック含む）が古い場合は、ツール実行中に .NET Framework のエラーが発生することがあります。
- ※ 日本語版以外の OS はサポートしません。
- ※ SOLIDWORKS 製品サポートのライフサイクルおよび Microsoft Windows ライフサイクルのファクトシートの双方をカバーする期間において、該当する各 Windows リリースをサポートします。
- ※ 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS には対応しておりません。
- ※ 部品、アセンブリ、図面は、解除済みモードで開いた状態でご利用ください。
- ※ デタッチドドロ잉図面には対応していません。
- ※ 2025 年 2 月現在の情報であり、必要動作環境は随時変更となる場合があります。将来的にも動作を保証するものではありません。

## 2. ファイル構成

コレクションキットの各ツールのプログラムは、下記インストール先に配置されます。

### 2-1. デフォルトインストール先

コレクションキットのインストール先は、

**C:\¥Ots\_SWUtility** です。

(以後、コレクションキットのインストール先フォルダは、[Ots\_SWUtility]と記載します)

No	ツール名	フォルダ名
1	スケッチ作成ツール	¥OtsSW_CreateSketch
2	二等分線作成ツール	¥OtsSW_CreateBisector
3	インボリュート曲線作成ツール	¥OtsSW_CreateInvoluteCurve
4	標準平歯車作成ツール	¥OtsSW_CreateGear
5	コンフィギュレーション分解ツール	¥OtsSW_DisassembleConfig
6	公差率適用モデル作成ツール	¥OtsSW_ToleranceConfig
7	フィーチャー名/寸法名一括変更	¥OtsSW_RenameFeatureDimension
8	シリンダー色付けツール	¥OtsSW_ChangeCylinderColor
9	プロパティ編集登録ツール	¥OtsSW_EditProperty
10	アセンブリ構成編集ツール	¥OtsSW_EditAssembly
11	アセンブリ構成部品並べ替えツール	¥OtsSW_SortAssemblyParts
12	構成部品レイヤ振分ツール	¥OtsSW_DistributeLayer
13	線属性一括変更ツール	¥OtsSW_ChangeLineAttribute
14	図面捺印ツール	¥OtsSW_CreateStamp
15	図面 QR コード作成ツール	¥OtsSW_CreateQRCode
16	連続印刷ツール	¥OtsSW_MultiPrint
17	連続変換ツール	¥OtsSW_MultiConvert
18	ファイル保存バージョン確認ツール	¥OtsSW_CheckFileVersion
19	フィーチャーエラー確認ツール	¥OtsSW_CheckFeatureError
20	質量特性確認ツール	¥OtsSW_CheckMassProperty
21	穴寸法テキスト編集ツール	¥OtsSW_EditCalloutFormat
22	ユーザ定義材料ライブラリー一括登録ツール	¥OtsSW_AppendMaterialLibrary
23	部品表プロパティ登録ツール	¥OtsSW_EditProperyFromBOM

※ 各ツールのマニュアルは、

弊社 Web サイト [ CAD 便利ツール(要ログイン) ] - [ ツールのダウンロード ]

に掲載されています。ダウンロードしてご利用ください。

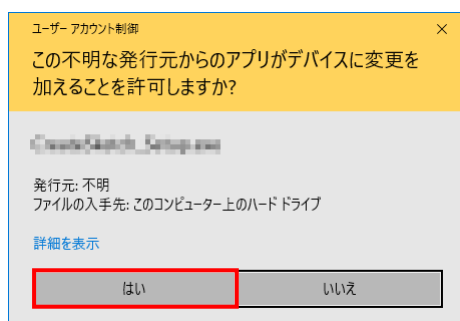
マニュアルのダウンロード方法につきましては、別紙「[コレクションキットのご利用手順](#)」をご確認ください。

## 3. セットアップ

### 3-1. インストール方法

- ※ コレクションキットをインストールするには、管理者権限が必要です。
- ※ 既にコレクションキットがインストールされている場合は、インストールを実行できません。アンインストールをおこなった後に、インストールを実行してください。

- 1) 起動しているすべてのプログラムを終了してください。
- 2) ダウンロードしたセットアップファイル (\*.exe) を選択し、ダブルクリックして実行します。セキュリティの警告が表示された場合は、[はい]をクリックします。



- ※ ツールのダウンロード方法につきましては、別紙「[コレクションキットのご利用手順](#)」をご確認ください。

- 3) セットアップのダイアログが表示されますので、[次へ]をクリックします。



- 4) 使用許諾契約を最後までお読みいただき、[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 5) ユーザー情報を入力し、[次へ]をクリックします。



- 6) インストール準備完了のダイアログが表示されますので、[インストール]をクリックします。



- 7) インストール完了のダイアログが表示されますので、[完了]をクリックします。



以上で、インストールは完了です。

## 3-2. アンインストール方法

- ※ コレクションキットをアンインストールするには、管理者権限が必要です。
- ※ アンインストール後に再インストールする場合は、必ずコンピュータを再起動してください。

- 1) 起動しているすべてのプログラムを終了してください。
- 2) [コントロールパネル]から[プログラムと機能]、または[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 3) プログラムのアンインストールまたは変更で [COLLECTION KIT-R ○○○○ツール]を選択し、[アンインストール]をクリックします。

※ ○○○○ツールの部分は、アンインストールするツール名に読み替えてください。



- 4) 実行の確認ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。
- 5) アンインストール完了のダイアログが表示されますので、[完了]をクリックします。

以上で、アンインストールは完了です。

## 4. アクティベーション（ライセンス認証）

コレクションキットをご利用いただくには、アクティベーション（ライセンス認証）が必要です。

ライセンスのアクティベーションは、インターネット経由でおこないます。

ライセンスの有効期間は 365 日です。一度ライセンスを取得すると 365 日間ご利用いただけますが、有効期間が経過すると再認証が必要となります。

最長 365 日ごとにアクティベーションをおこなってください。

取得したライセンスは、有効期間終了前に手動で返却することができます。

※ アクティベーションの際は、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

### 4-1. 便利ツール ID・パスワードの確認

- 1) 弊社ウェブサイトへアクセスします。

<https://mypage.otsuka-shokai.co.jp/>

- 2) トップページから[ ログイン ]を選択し、大塚 ID でログインします。



大塚 ID をお持ちでない場合は、下記手順に沿って新規登録してください。

<https://mypage.otsuka-shokai.co.jp/contents/account/about-otsuka-id/flow/>

- 3) 大塚 ID と保守の契約を紐付けします。

コレクションキット提供対象の保守ご契約時にお送りしている書類《窓口のご案内》をお手元にご用意の上、下記手順に沿って契約を紐付けてください。

<https://mypage.otsuka-shokai.co.jp/contents/guide/link-contract/way/>

既に紐付けまで完了されている場合は、次の手順へお進みください。

※必ずコレクションキット提供対象の保守契約と紐付けてください。

書類が見つからない、ログイン ID（会員番号）・パスワードが分からない場合は、下記 URL から再発行のお手続きをしてください。

<https://mypage.otsuka-shokai.co.jp/account/password-reissue/request/input>



- 4) 大塚 ID でログインし、画面上部の[ サポート ]を選択します。



- 5) 技術サポート情報を探す より[ CAD 便利ツール(要ログイン) ]を選択します。



- ※ 下記画面が表示される場合は、現在ログインしている大塚 ID に契約情報が正しく紐づけされていません。  
この画面が表示された時は、[契約紐付け設定]より設定をおこなってください。（上記手順3）をご確認ください。）



- 6) [ 便利ツール ID とライセンス使用状況の確認 ] から、便利ツール ID とパスワードを確認します。

### CAD便利ツールメニュー

**CAD便利ツールとは**

CAD便利ツールは、CAD製品へ追加・連携する大塚商会のオリジナルツールです。よく行う一連の操作を簡略化したり、作業効率を上げる便利な機能をご用意しました。大塚商会で対象の保守をご契約いただいているお客様は、こちらのページからご利用ください。

- お客様は、対象メニューをご契約中です。

**CAD便利ツールのご利用**

📄 ツールのダウンロード

CAD便利ツールをご利用いただくには、CADをお使いいただいているパソコンへプログラムのインストールが必要です。プログラムのダウンロード、マニュアルのダウンロードはこちらから

📄 便利ツールIDとライセンス使用状況の確認

CAD便利ツールのライセンスを取得するときに必要な「便利ツールID」の管理と、ライセンスの取得/返却状況をご確認いただけます。パスワードの確認・変更もこちらから行えます。

### 便利ツールIDとライセンス使用状況の確認

便利ツールIDのパスワード確認および変更する場合は、該当の「パスワード確認・変更」を押してください。利用状況の詳細を確認する場合は、該当の「利用状況詳細」を押してください。

会員番号 1000000000000000

便利ツールID	ツールセットID	ツールセット名	使用権	使用数
1000000000000000	1000000000000000	SOLIDWORKS Collection Kit V	1000000000000000	1000000000000000

・パスワード確認・変更

▶ 利用状況詳細

### 便利ツールIDのパスワード確認

便利ツールIDに現在設定されているパスワードを確認いただけます。パスワードを変更する場合は「パスワードを変更する」を押してください。

便利ツールID	1000000000000000
現在のパスワード	1000000000000000

- ※ ツールセット名に「SOLIDWORKS 用 コレクションキット」が表示されない場合は、大塚 ID にコレクションキット提供対象の保守契約が正しく紐づけされていません。  
上記手順3)に沿って、コレクションキット提供対象の契約を紐付けてください。

ここでご確認いただいた便利ツール ID とパスワードは、ツールをアクティベーション（ライセンス取得）する際に使用します。

ツールを複数人で使用する場合は、管理者の方から利用者にご案内ください。

- ※ 便利ツール ID とパスワードは、保守のご契約に基づいて発行されています。  
故意に第三者へ知らせめたり、無断で貸与したりすることはできません。

## 4-2. ライセンスの取得

※ コレクションキット のライセンスは、全ツールで共通です。

既にコレクションキット のいずれかのツールがインストールされ、ライセンスを取得済みの場合は、この操作は必要ありません。（取得画面は表示されません。）

※ ライセンス取得の際は、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

### 4-2-1.<新規ライセンス取得>

- 1) コレクションキットをインストール後、ツール機能を初めて実行した際に下記メッセージが表示されます。

[ライセンスを取得する]を選択し、[OK]をクリックします。

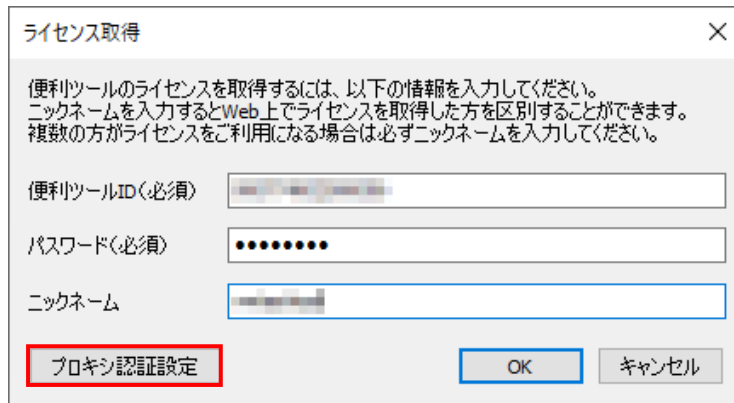
[試用版として利用する]を選択した場合、試用期間中はライセンスの取得ができません。試用期間が終了するまで、そのままご利用ください。試用期間が終了すると、ライセンスの取得が可能になります。

- 2) ライセンス取得ダイアログが表示されますので、「[4-1.便利ツール ID・パスワードの確認](#)」で確認した[便利ツール ID]、[パスワード]、[ニックネーム]を入力します。

ニックネームを入力すると、弊社ウェブサイト《お客様マイページ》の[便利ツール ID とライセンス使用状況の確認]で誰がライセンスを使用しているか確認することができます。

※ 複数人で便利ツール ID、パスワードを共有してご使用する場合は、必ずお客様内で判別可能なニックネームの入力をお願いいたします。

- 3) プロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合は、[プロキシ認証設定]をクリックします。プロキシサーバーを使用しない場合は、手順 5) へ進んでください。



ライセンス取得

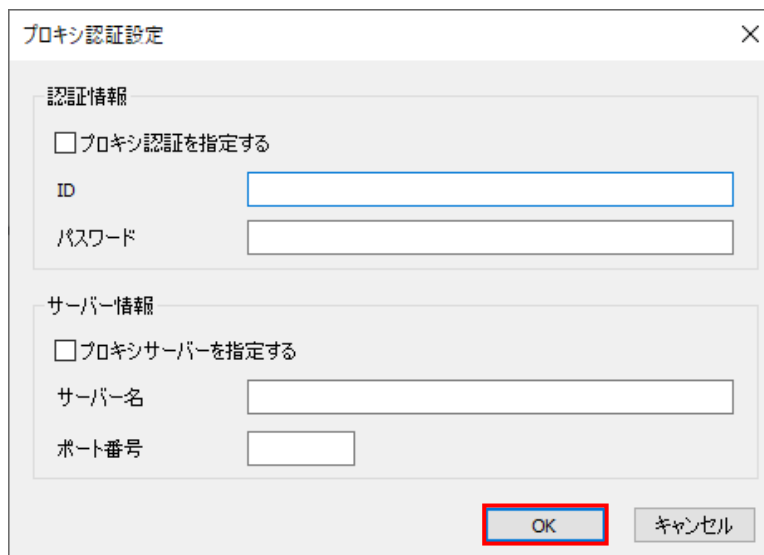
便利ツールのライセンスを取得するには、以下の情報を入力してください。  
ニックネームを入力するとWeb上でライセンスを取得した方を区別することができます。  
複数の方がライセンスをご利用になる場合は必ずニックネームを入力してください。

便利ツールID(必須)

パスワード(必須)

ニックネーム

- 4) プロキシ認証設定ダイアログが表示されますので、お客様の環境に応じて設定してください。  
[プロキシ認証を指定する]にチェックを入れ、認証の際に使用する[ID]、[パスワード]を入力します。また、プロキシサーバーを指定する場合は、[プロキシサーバーを指定する]にチェックを入れ、[サーバー名]と[ポート番号]を入力し、[OK]をクリックします。



プロキシ認証設定

認証情報

☐ プロキシ認証を指定する

ID

パスワード

サーバー情報

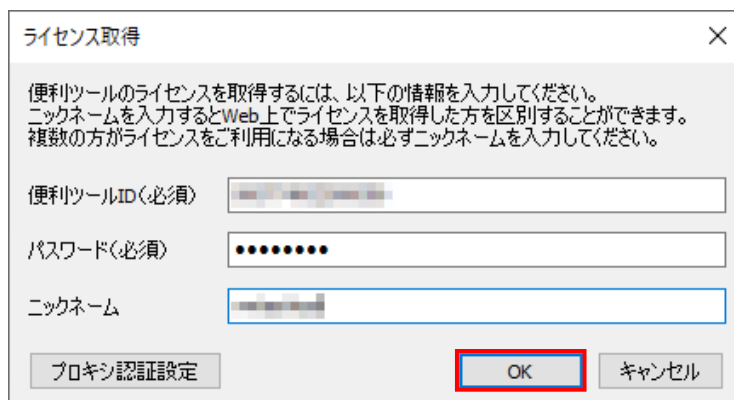
☐ プロキシサーバーを指定する

サーバー名

ポート番号

※ プロキシサーバーの設定内容は、お客様のシステム管理者様にご相談ください。

- 5) ライセンス取得ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。



ライセンス取得

便利ツールのライセンスを取得するには、以下の情報を入力してください。  
ニックネームを入力するとWeb上でライセンスを取得した方を区別することができます。  
複数の方がライセンスをご利用になる場合は必ずニックネームを入力してください。

便利ツールID(必須)

パスワード(必須)

ニックネーム

### 4-2-2. ライセンスの再取得

- 1) ライセンスの有効期限が切れると（取得後 365 日が経過すると）、コレクションキットのツール起動時に下記メッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

※ 手動でライセンスを返却した場合も次回ツール起動時に下記メッセージが表示されます。



- 2) 前回入力した値が初期表示されますので、確認して[OK]をクリックします。

ライセンス取得ダイアログボックス。タイトルは「ライセンス取得」で、右上には閉じるボタン（X）があります。説明文は「便利ツールのライセンスを取得するには、以下の情報を入力してください。ニックネームを入力するとWeb上でライセンスを取得した方を区別することができます。複数の方がライセンスをご利用になる場合は必ずニックネームを入力してください。」です。入力欄には「便利ツールID(必須)」、「パスワード(必須)」、「ニックネーム」があり、それぞれに前回入力した値が初期表示されています。下部には「プロキシ認証設定」、「OK」、「キャンセル」のボタンがあります。この「OK」ボタンが赤い枠で囲まれています。

- ※ パスワードは、伏字（\*）表示になります。
- ※ 便利ツール ID、パスワードに変更があった場合は、新しい[便利ツール ID]、[パスワード]を入力してください。

### 4-3. ライセンスの返却

コレクションキットのライセンスは、手動で返却することができます。

※ ライセンス返却の際は、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

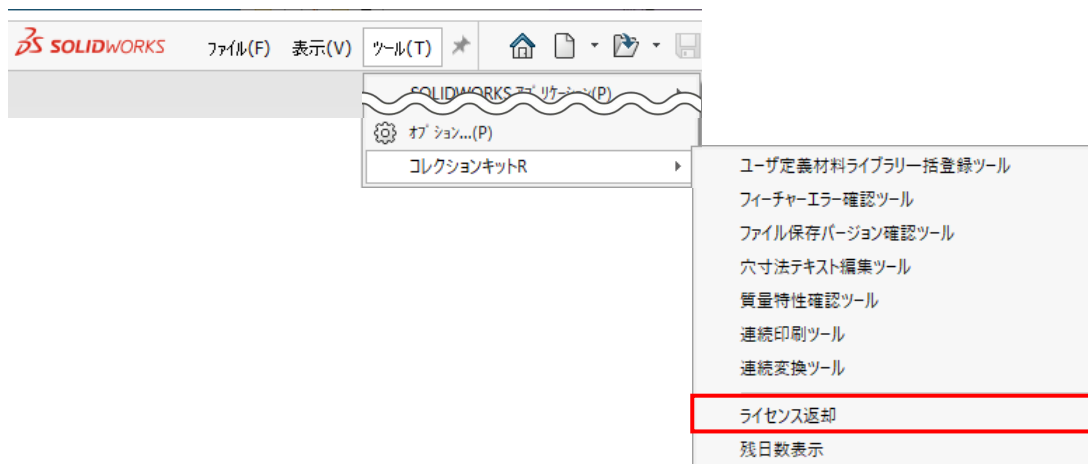
SOLIDWORKS 製品をネットワークライセンス環境でご利用のお客様へ

ネットワークライセンス環境では、SOLIDWORKS 終了時にライセンスが自動的にライセンスサーバーへと返却されますが、コレクションキットのライセンスは、インターネット経由で取得している関係上、自動で返却されることはありません。

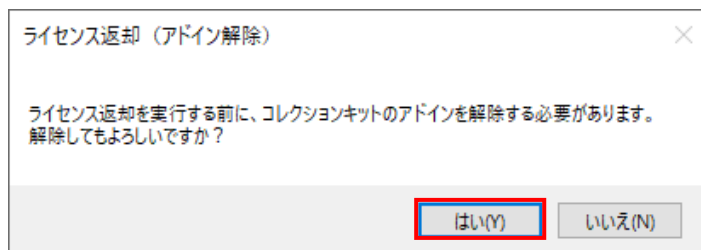
SOLIDWORKS を終了しても、コレクションキットのライセンスは、お使いのコンピュータに取得されたままの状態となります。

#### 4-3-1. <メニューバーから返却する方法>

- 1) SOLIDWORKS のファイル（部品/アセンブリ/図面）を全て閉じます。
- 2) SOLIDWORKS メニューバーの[ツール(T)]から[コレクションキット R] ⇒ [ライセンス返却]をクリックします。



- 3) アドイン解除の確認ダイアログが表示されますので、[はい]をクリックします。



※ [いいえ]をクリックした場合、ライセンス返却は中止されます。アドインを解除しないでライセンスを返却することはできません。

- 4) ライセンス返却のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。



※ ライセンス取得後にパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力し直してください。（変更前のパスワードでは返却できません。）

以上で、ライセンス返却は完了です。

### 4-3-2. <ライセンス返却モジュールを使用して返却する方法>

SOLIDWORKS を終了してしまっている場合は、この方法でライセンスを返却してください。

- 1) Windows のエクスプローラーで、ツールのインストール先フォルダを開きます。  
※ ツールのインストール先は、[\[2.ファイル構成\]](#)のフォルダ名を参照してください。
- 2) ツールのフォルダ¥Addins の[ PKLicUtilSWCK.exe ]をダブルクリックします。
- 3) [ライセンス返却]をクリックします。

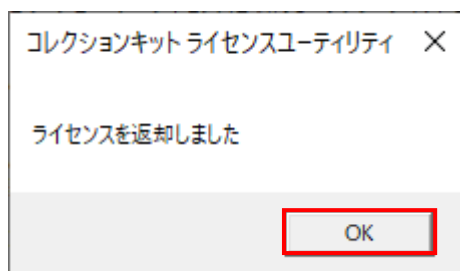


- 4) ライセンス返却のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。



※ ライセンス取得後にパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力し直してください。（変更前のパスワードでは返却できません。）

- 5) ライセンス返却のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

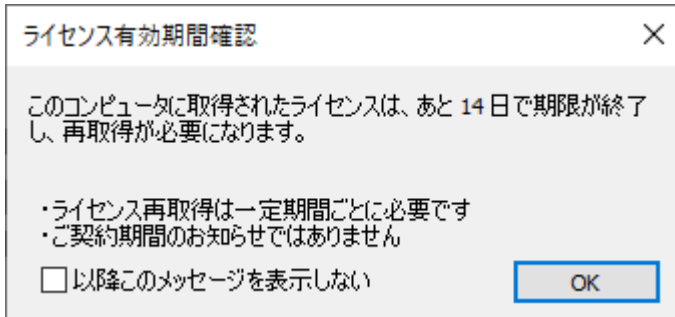


以上で、ライセンス返却は完了です。



## 4-4. ライセンス有効期間の確認

SOLIDWORKS メニューバーの[ツール(T)]から[コレクションキット R] ⇒ [残日数表示]をクリックすると、ライセンスの残り有効期間が確認できます。



[以降このメッセージを表示しない]：

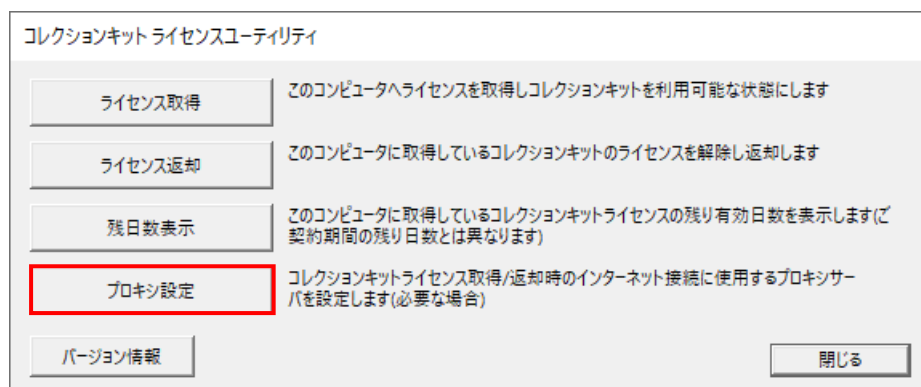
- オン： SOLIDWORKS 起動時にメッセージは表示されません。
- オフ： 有効期間終了 14 日前より、SOLIDWORKS 起動時にメッセージが表示されます。

- ※ 本メッセージは再アクティベーションが必要となるまでの日数をお知らせするものです。  
保守ご契約期間のお知らせではありません。
- ※ デフォルトはチェックオンです。
- ※ [以降このメッセージを表示しない]の設定は、ライセンスの再取得後も維持されます。

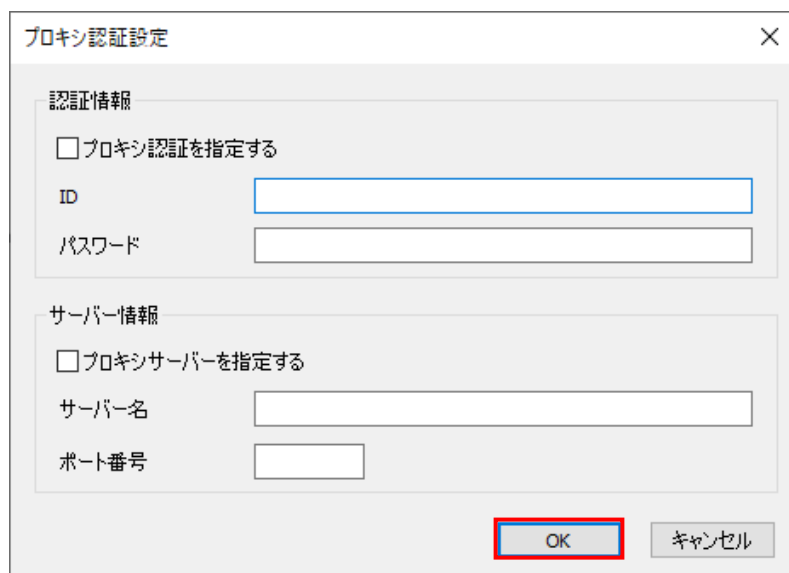
## 4-5. プロキシ設定の表示

ライセンスの取得後にプロキシの設定に変更があった場合、プロキシ設定画面を表示して変更します。

- 1) Windows のエクスプローラーで、ツールのインストール先フォルダを開きます。  
※ ツールのインストール先は、[[2. ファイル構成](#)]のフォルダ名を参照してください。
- 2) ツールのフォルダ¥Addins の[ PKLicUtilSWCK.exe ]をダブルクリックします。
- 3) [プロキシ設定]をクリックします。



- 4) プロキシ認証設定のダイアログが表示されますので、お客様の環境に応じて設定し、[OK]をクリックします。



※ プロキシサーバーの設定内容は、お客様のシステム管理者様にご相談ください。

- 5) ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。



以上で、プロキシ設定は完了です。

## 5. 操作マニュアル

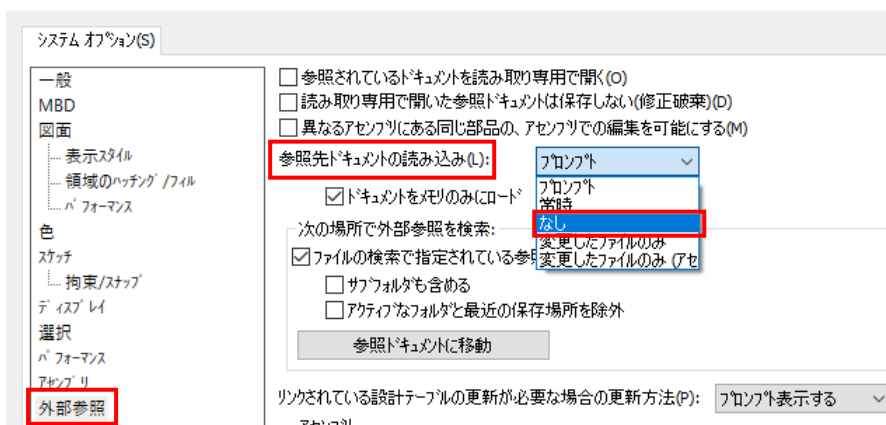
本ツールは、SOLIDWORKS の部品、アセンブリ、図面を一括変換するツールです。

対象データ	部品	○	アセンブリ	○	図面	○		
メニュー表示	部品編集時	－	アセンブリ編集時	－	図面編集時	－	非編集時	○

### 5-1. 制限・注意事項

- ・ 本ツールは直前の指定保存時の設定(SOLIDWORKS 本体のオプション設定)で変換されます。設定を変更したい場合は、一度 SOLIDWORKS で指定保存を実行します。指定保存の[ファイルの種類]から設定変更する変換形式を選択し、[オプション]より変更してください。[2D] PDF および[2D] eDrawings 形式で複数シートが含まれる図面を変換した場合は、全てのシートを1つのファイルへ出力します。
- ・ 変換形式で STEP を選択した場合は、AP203 で変換されます。(AP214 は未対応です。)
- ・ ファイル名として使用できない文字がシート名に含まれていると変換できないことがあります。変換前にシート名を適切に変更してください。
- ・ 本ツール実行中は中止することが出来ません。変換が終了するまで SOLIDWORKS を操作しないでください。
- ・ 英数字以外の文字を含むドキュメントを PDF に変換するには、Arial Unicode MS フォントが必要です。Arial Unicode MS フォントは、Microsoft® Office® 2016 ソフトウェアでは提供されていません。Microsoft® Office2013® 以前の環境から、Arial Unicode MS フォント をコピーすることで回避ができます。
- ・ 外部参照先ファイルが存在しないデータを変換する場合は、メッセージ表示による本ツールの途中停止を避けるため、SOLIDWORKS の設定を変更してください。
  - 1) SOLIDWORKS メニューバーの [ツール(T)] から [オプション] ⇒ [システムオプション]をクリックします。
  - 2) [外部参照]の[参照先ドキュメントの読み込み]から[なし]を選択し、[OK]をクリックします。

システム オプション(S) - 外部参照



※本ツールのご利用後は、元の設定に戻しておくことをお勧めします。

## 5-2. 画面構成



- ① ファイルリスト  
[ファイル追加][フォルダ追加][ドラッグ&ドロップ]により、選択したファイルの情報および変換結果を表示します。(Shift キーまたは Ctrl キーで複数行選択可)
- ② ファイル追加  
変換するファイルをファイル単位で[ファイルリスト]に追加します。
- ③ フォルダ追加  
変換するファイルをフォルダ単位で[ファイルリスト]に追加します。  
[サブフォルダ含む]にチェックを入れると、指定したフォルダ以下すべてのサブフォルダのファイルを対象として[ファイルリスト]に追加します。
- ④ リストから削除  
[ファイルリスト]で選択中のファイルを[ファイルリスト]から削除します。
- ⑤ オプション  
SOLIDWORKS のシステムオプションの設定画面を表示します。  
[エクスポート]の[ファイルフォーマット:]にて、各変換形式の設定をおこないます。
- ⑥ 変換形式  
[ファイルリスト]で選択中のファイルの変換形式を選択します。

## ⑦ 実行

設定した内容に従って、変換を実行します。

## ⑧ リスト読込

本ツールで保存した既存のリストファイル(\*.lmc)を現在の[ファイルリスト]に追加読み込みします。

## ⑨ リスト保存

現在の[ファイルリスト]の内容をリストファイル(\*.lmc)に保存します。

## ⑩ リスト全クリア

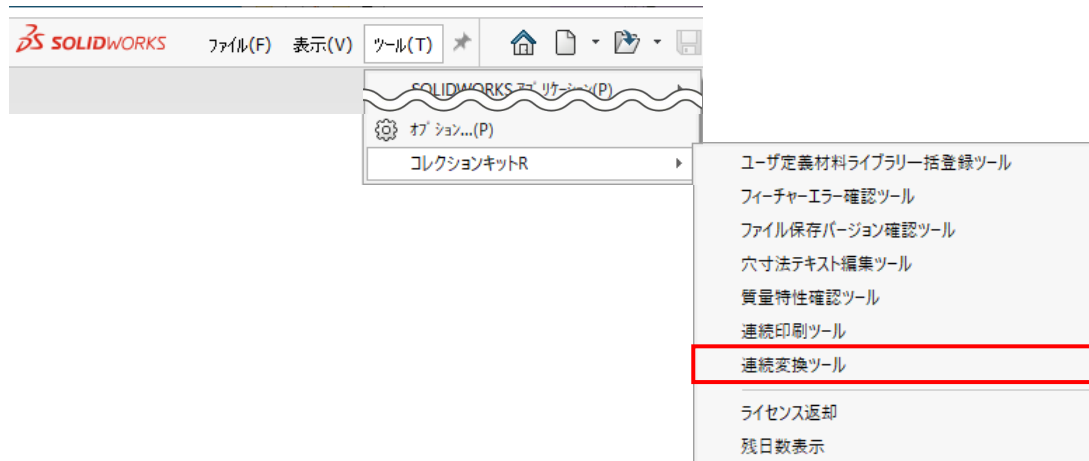
現在の[ファイルリスト]を全クリアします。

## ⑪ 閉じる

ツール画面を終了します。

### 5-3. 基本操作手順

- 1) SOLIDWORKS を起動します。(ドキュメントは開かないでください。)
- 2) SOLIDWORKS メニューバーの [ツール(T)] から  
[コレクションキット R] ⇒ [連続変換ツール] をクリックします。



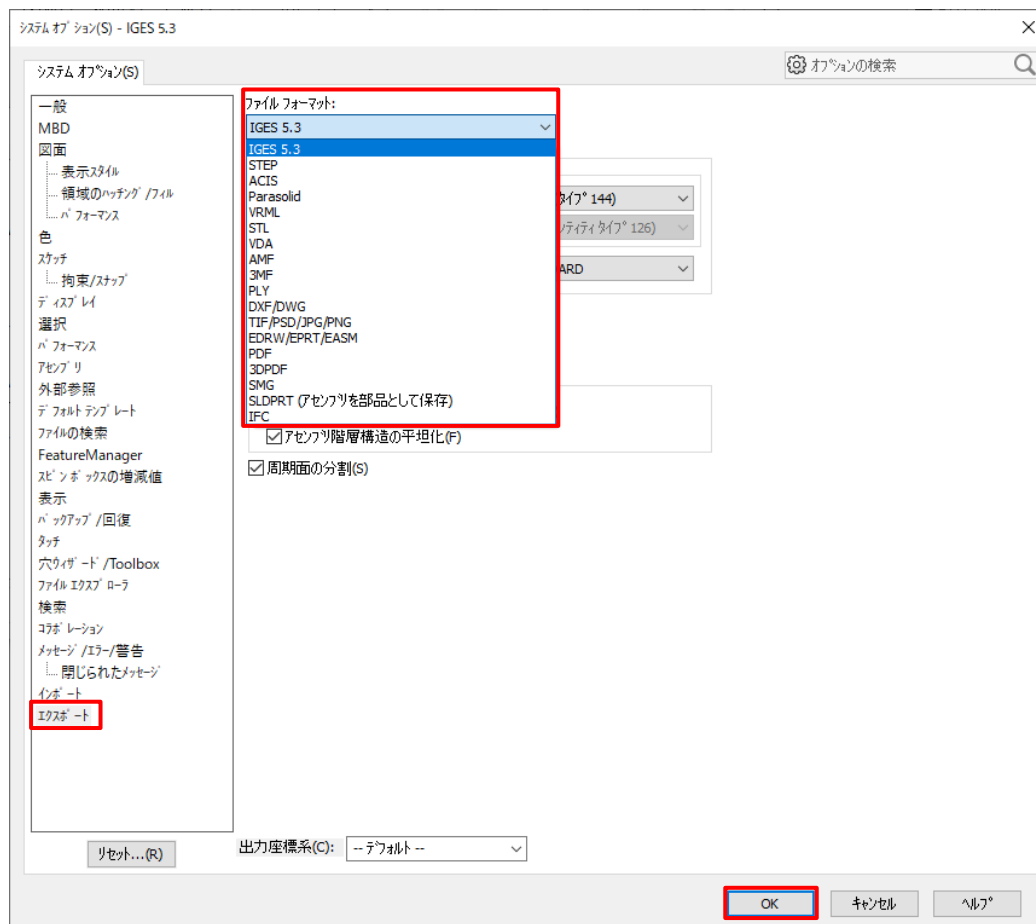
- 3) [ファイル追加]または[フォルダ追加]をクリックし、変換するファイルを選択します。
- ※ ファイルは、ドラッグ＆ドロップで追加することもできます。
  - ※ [サブフォルダ含む]にチェックを入れると、[フォルダ追加]で指定したフォルダ以下すべてのサブフォルダのファイルを対象として[ファイルリスト]に追加します。
  - ※ [リスト読込]より、既存のリストファイル(\*.lmc)を読み込むこともできます。



- 4) [オプション]をクリックすると、SOLIDWORKS のシステムオプション画面が表示されます。  
[エクスポート]をクリックし、[ファイルフォーマット:]より各変換形式の設定をおこないます。  
設定が完了したら[OK]をクリックし、SOLIDWORKS のシステムオプション画面を終了します。

※ 本ツールは、直前の指定保存時の設定(SOLIDWORKS 本体のオプション設定)を使用して変換を実行します。本ツールの[オプション]からは、指定保存時の全ての設定は表示されないため、設定を変更したい場合は、一度 SOLIDWORKS で指定保存を実行してください。

※ [2D] PDF および[2D] eDrawings 形式で複数シートが含まれる図面を変換した場合は、全てのシートを 1 つのファイルへ出力します。

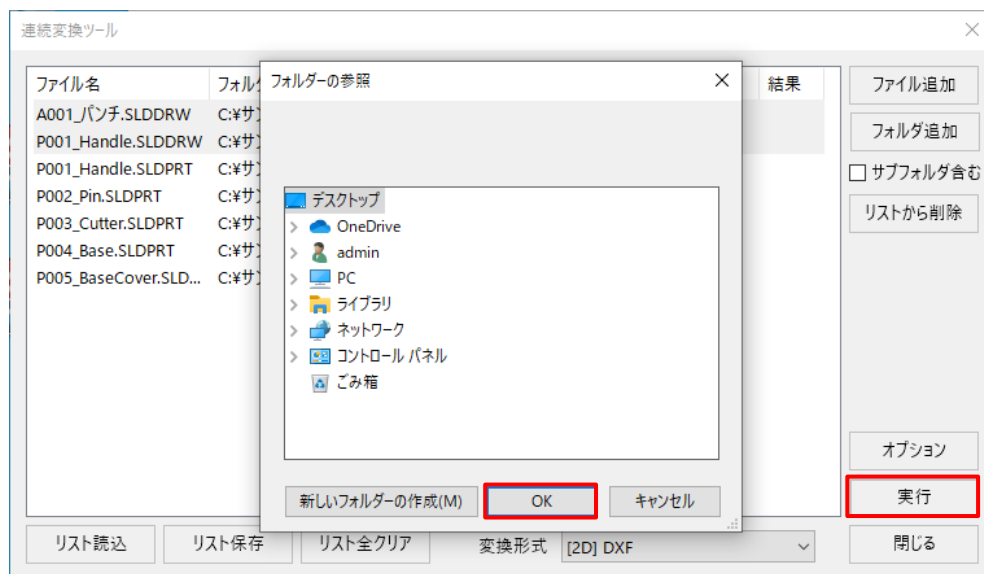




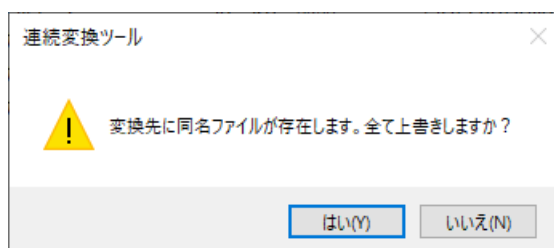
- 5) [ファイルリスト]で目的のファイルを選択し、[変換形式]を選択します。



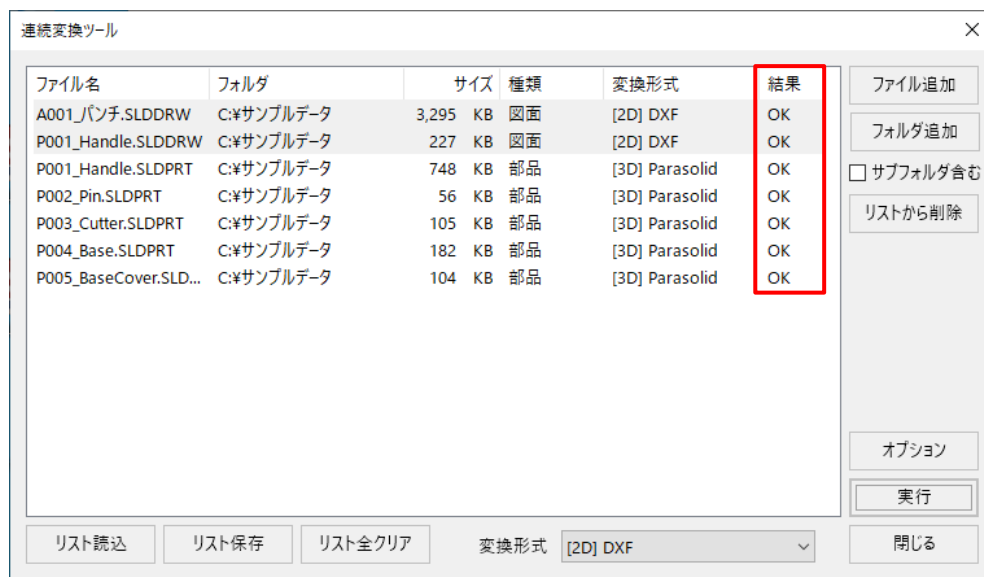
- 6) [実行]をクリックし、変換ファイルの保存先を指定して[OK]をクリックすると、設定した内容に従って順次変換が実行されます。



- ※ 保存先に同名ファイルが存在した場合は、下記メッセージが表示されます。  
[はい]を選択するとすべて上書きされます。[いいえ]を選択すると処理を中止します。



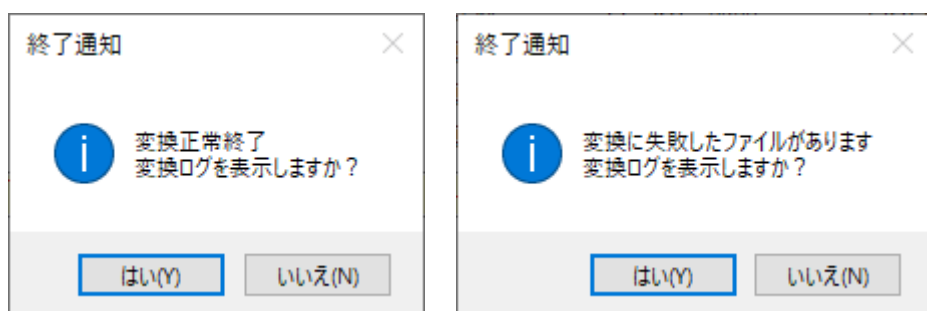
- 7) 変換が終了すると、[ファイルリスト]に変換結果が表示されます。



- ※ 変換が終了すると、下記のメッセージが表示されます。

必要に応じて、変換ログを確認してください。

(変換ログ：¥Ots\_SWUtility¥OtsSW\_MultiConvert ¥addins¥SWCK\_MultiConvert.txt)



- 8) [閉じる]をクリックしてツールを終了します。

## 5-4. エラー一覧

ツール使用時に表示されるエラーの内容と対処方法を下記に記載します。

※ ここに挙げたメッセージは全てではありません。これ以外にもメッセージが表示されることがあります。

メッセージ	対処方法
変換元のファイルが開けません	ファイルを開くことが出来ません。 SOLIDWORKS で開くことが出来るか確認してください。
その図面は移動または削除されています	ファイルが見つかりません。 ファイルリストのフォルダ名の場所にファイルが存在しているか確認してください。
変換元のファイルが開けません。 ファイルのバージョンを確認してください	ファイルが変換に使用する SOLIDWORKS より新しいバージョンで保存されています。 ファイルの保存バージョンと同じバージョンの SOLIDWORKS を起動して、再度お試しください。
変換元のデータの構成ファイルが不完全です	ファイルの構成部品を見つけることができません。SOLIDWORKS で見つからない構成部品を修正してください。
シート名にファイル名として不正な文字があります	ファイル名として使用できない文字がシート名に含まれています。 シート名を適切に変更し、再度実行してください。
図面ファイルを変換形式 [2D] PDF へ変換した場合、結果が“NG”となる。 変換ログを確認すると、「変換エラー」と出力されている	Arial Unicode MS フォントがインストールされているかご確認ください。 英数字以外の文字を含むドキュメントを PDF に変換するには、Arial Unicode MS フォントが必要です。

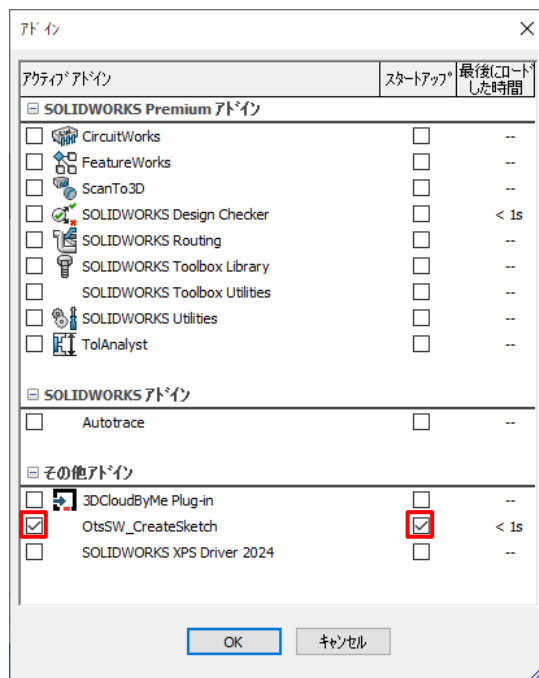
## 6. 補足：こんな時は

### Q.1 コレクションキットのメニューが表示されない

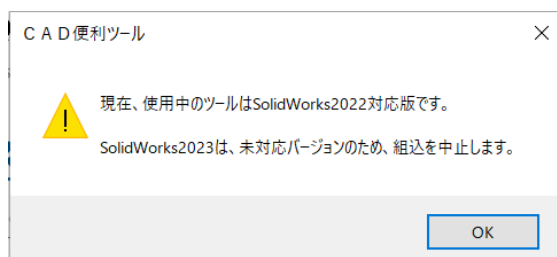
コレクションキットは、インストール後、SOLIDWORKS 起動時に自動的にアドインされます。  
自動でアドインされない場合や、コレクションキットメニューが表示されない場合は、アドイン設定をご確認ください。

- 1) SOLIDWORKS を起動します。  
(起動時に自動でオープンするファイルがある場合は閉じてください。)
- 2) SOLIDWORKS メニューバーの [ツール] ⇒ [アドイン] をクリックします。
- 3) アドインダイアログで対象ツールの [アクティブアドイン] と [スタートアップ] 両方のチェックボックスにチェックを入れ、[OK]をクリックします。

例：スケッチ作成ツールの場合



- ※ 各ツールのアドイン名は、[\[2.ファイル構成\]](#)のフォルダ名を参照してください。
- ※ アドインダイアログに対象ツールのアドイン名が表示されない場合は、[\[Q.2 SOLIDWORKS のアドインダイアログにアドイン名が表示されない\]](#)を参照してください。
- ※ ツールがご利用の SOLIDWORKS バージョンに対応していない場合は、アドインできません。下記のようなメッセージが表示される場合は、ツールの動作環境をご確認ください。



## Q.2 SOLIDWORKS のアドインダイアログにアドイン名が表示されない

インストール後、SOLIDWORKS メニューバーの [ツール] ⇒ [アドイン] でアドイン名が表示されない場合は、一度アンインストールをおこなった後に、再インストールを実行してください。  
再インストールをおこなっても現象が解消されない場合は、下記方法をお試しください。

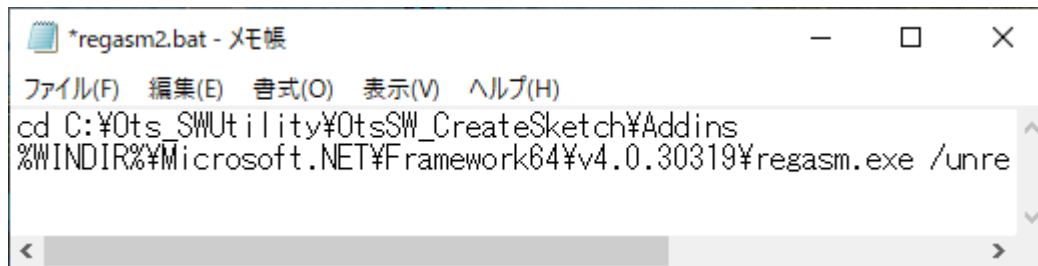
- 1) SOLIDWORKS を終了します。
- 2) エクスプローラ等で、ツールのインストール先フォルダを開きます。  
※ デフォルトのインストール先は、[[2.ファイル構成](#)]を参照してください。

- 3) テキストエディタ(メモ帳など)で[ regasm2.bat ]ファイルを開きます。
- 4) 先頭行に下記コマンドを 1 行追加して、上書き保存します。

```
cd C:¥Ots_SWUtility¥[各ツールのフォルダ名]¥Addins
```

※ [各ツールのフォルダ名]は、[[2.ファイル構成](#)]のフォルダ名を参照してください。

例：スケッチ作成ツールの場合



- 5) 同様に、テキストエディタ（メモ帳など）で[ regasm.bat ]ファイルを開き、先頭行に下記コマンドを 1 行追加して、上書き保存します。

```
cd C:¥Ots_SWUtility¥[各ツールのフォルダ名]¥Addins
```

※ [各ツールのフォルダ名]は、[[2.ファイル構成](#)]のフォルダ名を参照してください。

- 6) [ regasm2.bat ]ファイルを右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。  
(しばらく時間がかかる場合がありますが、ダイアログが閉じるまでお待ちください。)
- 7) 次に、[ regasm.bat ]ファイルを右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。  
(しばらく時間がかかる場合がありますが、ダイアログが閉じるまでお待ちください。)
- 8) SOLIDWORKS を起動し、SOLIDWORKS メニューバーの [ツール] ⇒ [アドイン] でアドイン名が表示されているかご確認ください。